

3月に公開した大津町子育て支援サイト「あつまれ！大津っ子」に登場する吉居さん一家。休日にはよく遊びに来るという昭和園で一枚



一歩踏み出せば、 世界が変わる。

よしい まい
吉居 麻衣さん(室)

日々、子育てと仕事に励む吉居麻衣さん。広報おおづのあつまれ！大津っ子をきっかけに、3月に公開した町ホームページ内の子育てサイトにも吉居さん一家が登場している。子育てに対する思いをクローズアップする。

熊本市出身で、夫の職場の関係で7年前に大津町へ引っ越してきた吉居さん。引っ越してきてすぐに長男を出産した。現在、子どもは3人。「私も夫も大津町出身ではないので、周りに頼れる友人や家族がいなくて、孤独でした」と縁もゆかりもない土地での子育ては、不安と寂しさでいっぱいだった。

町内で子どもが遊べる施設はあるが、新型コロナウイルスの影響で施設の利用が制限された。「夫は仕事があるので、家の中も、外に出るときも自分と子どもだけの生活でした。その状況が続くうちに、自分では気づかなかったのですが産後うつになっていました」。

感染症が落ち着き、少しずつ施設の利用ができるようになったとき、児童館を利用した。知り合いがいない場所に一歩踏み出し、子育ての環境を変えた吉居さんに変化があった。「児童館に通ういろいろな年代の親や先生に出会い、子育ての悩みを相談することで自分だけじゃないんだと安心できるようになりました。子どもも友だちが増え、子育てが楽しいと思えるようになったんです」とつながりが増えたことで子育てに前向きになれた。

大津町の人たちの温かさに触れ、大津町のことが大好きだと話す吉居さんは「元々、保育士をしていたので、自分の子育てが落ち着いたら保育所など、大津町の子どもたちに関わる仕事をしたいですね」と笑顔で夢を語る。

つづきの声

今年4月に入庁し、初めての仕事がこの広報おおづです。まさか自分が広報担当になるとは！と大変驚きましたが、同時に嬉しく思いました。今まで町民の一人として何気なく読んでいたこの広報誌ですが、いざ制作側に立ってみると私が想像するよりも多くの人の関わりがあり、たくさんの方の思いが詰まったものであると実感しました。今月号は前任者のSさんや周りの方々に助けられ発行することができ、心から感謝しています。これから大津町の魅力やお知らせを分かりやすく、伝わりやすいよう発信し、早く一人前になれるよう頑張りますのでよろしくお願いします。(M.S)

